



紫藤通信

発行所
山村国際高等学校
坂戸市千代田1-2-23
☎ 049-281-0221

印刷所
有限会社 須賀印刷

<http://www.yamamura-kokusai.jp>



四月六日、春の暖かな風に包まれながら新入生二四五名を迎え、第七十一回山村国際高等学校入学式が挙行された。新型コロナウイルスの影響で会場が学校から坂戸文化会館に変更され、参列する保護者は一家庭につき一名という制限付きでの開催となった。校長先生からは埼玉県の偉人で今年の大河ドラマの主人公渋沢栄一のことを紹介しながら、「自ら学ぶ心、感動する心、思いやりの心の三つを大事にしてほしい。論語にある『忠恕』という、友に対する思いやりを持つことが大切だ」と話された。岡理事長からは、山田洋二監督の「たそがれ清兵衛」のセリフから、「学問をすれば自分の頭で考えることができる。考える力があれば、何とか生きていける。これは男も女も同じだ。」という勉学の大切さを話された。

昨年度同様、呼名の際に返事をするのができなかったが、生徒の瞳には希望の光が宿っているように感じられた。この初心を忘れず、渋沢栄一が青年時代に詠んだと言われる漢詩「勢衝青天攘臂躋身穿白雲唾手征」(青空を衝きさす勢いで肘をまくって登り、白雲を突きぬける気力で手に唾して進む)のような気概を持って「青天を衝い」て欲しい。

玉磨かざれば光らず

校長 中山 達朗

「高校期はどこへでも乗り換えることができるターミナル駅である」と言われます。進むべき方向や生き方を決定する大切な時です。

特急列車に乗り換え、より遠い目的地を目指す人もいると思います。また、各駅停車で途中下車しながら、ゆとりと自分探しの旅を続ける人もいます。なかには、すべての列車に乗り遅れ、歩いていかざるを得ない人もいるかも知れません。

それぞれの列車のチケットを手に入れるのは、自分の努力次第であると思います。

古来より日本では、事をなすために「心(意欲・やる気)・技(技能・知識)・体(健康・体力)の三つが充実していなくてはならない」と言われてきました。しかし、この答えは簡単な足し算ではなく、「心×(技+力)」の公式で表されるものです。つまり、どんなに素質に恵まれ健康であっても「心(意欲・やる気)」がゼロならば結果もゼロになってしまうということです。山国生の多くは「技と力」を十分に兼ね備えています。要は「心」に火を点ずることが出来るかにかかっていると言ってもよいでしょう。

皆さん一人一人は、「磨けば光る原石」です。原石をブラッシュアップするにはどうしたらよいのか、ここでは進路の実現を参考例として紹介します。

一 少し高めの進路目標を設定
陽明学の祖、王陽明は「学は立志より先なるはなし」として、学

業が途中で挫折してしまうのは、「志」が立たないからだと言っております。言い換えれば、明確な進路目標を持つことが学習意欲の醸成につながります。進路目標を見つめるためには、自分の良いところや得意なものを伸ばすことも大切です。そして、何よりも現状安住を求めるのではなく、ワンランク上を目指す気概を持って努力を重ねることです。

二 学習意欲の定着

立志や学習意欲があっても、それを「実行」し「継続する行動」が伴わなければ意味がありません。部活動で疲れているから、忙しくてできないから等の言い訳は一切無用です。「なぜか成る、なぜか成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」が真理です。例えば、一日三十分の学習時間でも、一年スパンで見れば、一八二、五時間にもなります。まさに「継続は力なり」です。

三 基本的な生活習慣の確立

学習活動でも部活動でも根本に健康な心身がなければ大成しないと言われます。健康成立の三つの条件は、食事・休養・運動です。人間の生理的リズムに合った生活習慣を身に付けることがすべての基礎となります。目標設定に早すぎることはありません。目標が行動を生みます。行動様式が変容すれば目標実現に近づくと言えるでしょう。

皆さん一人一人の持つ能力・特性は高いものがあります。こうしたことから、本日紹介した内容が、皆さん一人一人の様々な活動の中で活かされ、ブラッシュアップしていただければありがたいです。

体育祭

六月三日(木)第六十六回体育祭を実施することができました。三学年の生徒だけの実施でしたが天候にも恵まれ無事に終了したことを報告します。

新型コロナウイルス感染症対策で実施種目も限られる中、参加した生徒が競技に一生懸命取り組み姿がありました。百メートル走から競技が開始され、各種目参加の生徒の動きから充実しているように見えました。特に最終種目のリレーやクラスごとに実施したダンスは全生徒から大きな声援と笑顔があふれ、体育祭の成功に大きく貢献したと思います。



第一位	三年四組
第二位	三年一組
第三位	三年三組

最後に、今回の体育祭は、生徒の事前準備と先生方の協力により何とか実施することができました。本当にありがとうございました。

※結果を報告させていただきます。

新入生オリエンテーション

四月七日に晴れて山村国際高校の一員となった新一年生二四五名は、授業が始まるまでの一週間、オリエンテーション期間として様々な事に取り組んだ。テーマは大きく分けて三点である。

- ①身近な世界を知る
 - ②これからの自分を考える
 - ③集団の中での自分を考える
- まずは身近な世界を知ることをテーマに、クラスメイトのこと、そして今後三年間を過ごす学校や校舎を知るための時間が設けられた。特に前者では、単なる自己紹介に留まらず、たとえば「バスデライン」という非言語によるコミュニケーションゲームに取り組んでもらうなど、生徒が主体的に活動できるよう、担任・副担任が随所に工夫してくれた。

次に将来を考える、をテーマに世の中に存在する職業についてグループワークを通じて学んだ。中には高校生に知られていない職業も多く、そのことを知ること自体が学びであった。加えて、少という間の高校三年間を少しでも充実してもらいたく、「三年後の自分」に宛てた手紙を各自に書いてもらった。卒業時に、この手紙をどのような思いで読むことになるのだろうか。

最後に集団の中で



四月七日に晴れて山村国際高校の一員となった新一年生二四五名は、授業が始まるまでの一週間、オリエンテーション期間として様々な事に取り組んだ。テーマは大きく分けて三点である。

④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

修学旅行・事前学習

「東日本大震災・原発事故からの復興」

第二学年 鴨志田 修

七月八日(木)二年生は修学旅行の事前学習の一環として表題の講演を富岡町にお住まいの石井和弘様にお願いました。震災の被害を受けた平成二十三年から今に至るまでの復興のあゆみを画像やグラフを見ながら学習しました。その土地に住み続けた人ならではの内容であり、メディア等の報道では知り得なかったその被害の甚大さを知ることができました。その被害の一つは何かあっても壊れないという原発の神話が大地震によって崩壊し、震災翌日には富岡町全町民六千人が放射能から逃れるために隣の人口三千人の川内村に避難したこと、わずか四日後にはさらに離れた郡山市へ避難したことなど、悪夢のような十年前の出来事をうかがいました。現在は避難指示解除の区域が徐々に増えていますが、町民の人口は震災前のわずか四割にとどまっているとのこと。家族全員で帰宅し、一緒に生活できる日はいつになるかわからないというお話を聴き、このような大地震をはじめ災害はいつ襲ってくるかわからないからこそ、日ごろからの備えが必要であることを感じ取った講話でした。東日本大震災で被災された地域の一日も早い復興を心よりお祈りいたします。



新任紹介

英語科 伊藤 絵里加

6月より英語科、2年1組・2年2組の副担任、軽音楽部顧問として着任いたしました。

伊藤絵里加と申します。趣味は犬の散歩と、美味しいものを食べることです。

授業では生徒とのコミュニケーションを大切にしています。

どうぞよろしく願います。

教育実習を終えて

女子栄養大学

青木 遥

三週間ありがとうございました。とても充実した日々を過ごすことができました。あつという間だったなと感じています。初めは、生徒の皆さんとの距離感に悩んだりもしました。けれども、皆さんが気さくに声をかけてくれたことで、お話する機会も増え、多くの学びを得ることが出来ました。今回、皆さんとともに共に学んだ経験を生かし、教員になるという目標に向かってこれ

からも努力していきます。生徒の皆さんは、色んなことに興味を持ち、時には失敗をしながらそれぞれの目標や夢に向かって頑張っているなと思います。最高の高校生活を送ってください！

東京理科大学

菅原 彩花

3週間という短い期間ではありますが、皆さんのおかげで充実した日々を過ごすことが出来ました。初めはとても不安でしたが、ご指導いただいた先生方や生徒の皆さんののおかげで、たくさんのことを学ぶことが出来ました。この教育実習での経験を活かし、教員になれるよう日々努力していきます。

大人になると、自身の高校生活を振り返るときが必ず誰しもやってきます。「こんなこともあったな」と未来の自分が笑って話せるよう、みなさんの高校生活が素敵な3年間になることを祈っています。まだまだ不安な日々が続きますが、みなさんお体にはお気を付けてお過ごしください。ありがとうございます。

大正大学

高山 晴菜

3週間本当にありがとうございました。この実習で、授業づくりに関することや生徒と関わることなどたくさんを学ぶことができました。不安と緊張でいっぱいだった中、先生や生徒のみなさんの優しさに支えられ、充実した実習期間を過ごすことができました。この経験を活かし、将来教員として教壇に立つことができるよう、日々努力していきます。

東洋大学

中西 恵人

教育実習に二週間参加させていただきありがとうございました。今回の教育実習では、非常に多くの事を経験させていただきました。それは、楽しいことだけではなく、辛い場面を含めた話です。

しかし、生徒の皆さんの笑顔や話し声、先生方の優しい対応だったりさまざまな要素があったり、最後までやり抜くことができました。

た。私は何年かかって、この山村国際高等学校に戻ってきたと考えています。中学三年生のころに、生涯一教師という目標をかかげ、ここまで歩んできました。私なら、絶対に最高の教員になれると本気で思っています。みなさんも、夢をもち続けて、前に向かって歩みを止めないで下さい。二週間、大変お世話になりました。

日本女子体育大学

古川 杏樹

三週間ありがとうございました。一年一組の担当だったのですが、保健も体育も授業がなく仲良くできるか心配でしたが、皆が優しくとても助けられました。ありがとうございます。

私は二年生と三年生の体育と保健を担当しました。たくさん学ばせていただきました。とても勉強になりました。教員になるための第一歩としてこの経験を大切に、日々勉強していきたいと思っています。本当にありがとうございました。

東京女子体育大学

川畑 美結

みなさんのおかげで教育実習の三週間はとても充実した日々を過ごすことができました。実習を振り返るとたくさんの生徒や先生方に支えられてきたなと感じました。この経験を忘れずにこれからも頑張っていきます。

皆さんも学校生活や部活動で様々な経験をし、高校生活を楽しんでってください。本当に三週間ありがとうございました。



部活動紹介

運動部

サッカー部

現在、サッカー部は新入生を迎え、合計61名で活動をしています。今年度は創部初となる関東大会予選への進出を決めるなど少しずつではありますが、チームとして着実に力を伸ばしています。主要大会での県ベスト8やリーグ昇格を目指すことはもちろんですが、部員それぞれが1人の人間として大きく成長し、周囲から応援してもらえそうな集団を目指しています。

ダンス部

ダンス部は、23名の新入部員を迎え、合計67名で活動しています。今年度、初の試みでもある、大編成の「ビジュアルクラス」、小編成の「モータルクラス」の両部門で大会に挑みます。それぞれが全国大会出場できるように、また見ている方に伝わる演技ができるように、日々練習を重ねていきます。

バントワーリング部

3年生2名、2年生3名、1年生2名、計7名で活動しています。コロナ禍で活動が制限されていますが、学校で活動ができること、また各種大会を実施して頂けることに感謝して今後も活動していきたいと思います。夏には和歌山にて全国高等学校総合文化祭の出場が決まっています。皆様に笑顔を与えられ

るように練習を続けていきます。

バレーボール部

2021年は実質3月からの活動であったため、体力面では一からの出直しとなりました。そのためあつて、4月の春季大会は非常に悔やまれる敗戦であった。その悔しさがバネとなり、5月のインターハイ予選ではようやく勝利を掴むことができた。勝てば県大会という代表決定戦で惜しくも敗れはしたが、これまでの反省や準備が活かされた良いゲームであった。この試合を以て3年生5名は引退となった。5名にはこの1年、満身に活動できない中で地道に練習に取り組んでくれたことに心より感謝したい。

野球部

本校野球部は部活動を通して礼儀や社会性を身につけ、社会に出たときに活躍できる人間になるとともに、甲子園出場を目標に掲げ、日々練習に打ち込んでいます。

野球ができること、支えてくれる方々への感謝の気持ちをお忘れずにプレーしています。応援よろしくお願い致します。

男子バスケットボール部

男子バスケットボール部は、1年生10名、2年生6名の計16名の選手と、1年生2名のマネージャーが所属しています。県大会出場を目指して1つ1つの練習や試合を大切に活動しています。日々の練習に全力で取り組み、心

身ともに成長できるように頑張っています。

女子バスケットボール部

女子バスケットボール部は17人の部員が所属しています。昨年度は新型コロナウイルスの猛威により、多くの制限があるなかでもできることを最大限に取り組み、5年連続県大会出場を果たしました。今年度も県大会出場を最低目標とし、1回でも多く公式戦で試合ができるよう、日々練習に取り組んでいます。練習ではつらいこともありましたがチーム一丸となり毎日頑張っています。

男子ソフトテニス部

現在男子ソフトテニス部は、1年生11名、2年生5名で活動しています。1年生の入学により、上級生に刺激を与え、より一層活気ある雰囲気の中で日々練習に取り組んでいます。

今年度は、昨年度と違い公式戦への出場機会も増え、県大会出場を果たしました。試合が出来ることを当たり前と思わず、謙虚な気持ちと、悔しい思いをした先輩方の思いを背負い、県大会入賞を目指して行きたいと思っています。

女子ソフトテニス部

女子ソフトテニス部は、1年生3名、2年生1名の計4名で活動しています。少人数ではありますが、県大会出場という目標のため、一人ひとりが積極的な声を出し、集中して練習に取り組んでいます。また、選手としてだけではなく、

く、人として成長できるように、学校生活との両立、礼儀やマナーも大切にしています。応援よろしくお願いします。

フットサル部

フットサル部は、週に三日活動しています。また、今年度は全日本U-18フットサル選手権大会の埼玉大会に出場するなど、今まで以上にレベルの高い大会への出場を果たすことができました。フットサルを楽しむことをモットーに、今後も意欲的に活動を行いますので、ご声援のほど、よろしくお願い致します。

剣道部

少人数の中、互いに声を掛け合い切磋琢磨しながら日々活動しています。

部員一人一人が、それぞれの課題解決のため基本を追求し、部訓「峻烈」のもと足を使って一本を取る稽古に励んでいます。

居合道部

居合道部は現在男子6名、女子3名で活動しています。居合道は真剣ではありませんが日本刀の模造刀を用いて古来から伝わる形を習い、部活動の稽古の時間はひたすら繰り返しています。形には座り技と立ち技があります。敵に対していかなる場合でもすばやく対応できるように平常心を養いつつ、無駄のない動きを身に付けられるように日々精進しています。

陸上競技部

短距離17名、長距離16名、マネージャー1名の計30名で活動しています。各々の目標達成へ、1つの目標達成に向け、仲間と共に切磋琢磨し練習に励んでいます。速い選手ではなく強い選手(チーム)を目指し、応援してくれる方々へ結果で恩返しができるように頑張っています。

文化部

よさこい部

「感謝は演舞で」をモットーに26人で活動しています。コロナ禍でイベントが次々に中止となりましたが、部活としての伝統を引き継ぐ為、学年の壁を越えて切磋琢磨しながらより良い演舞を目指して取り組んでいます。高校生ならではのフレッシュな演舞で魅了します。

福祉部

令和3年度の福祉部の活動は、新型コロナウイルス感染症の関係で、各方面へのボランティア活動をすべて休止した状況となっております。これからの私たちの活動そのものに大きな影響を及ぼすとも考えられます。そういつた中で各部員は、「今私たちにできることは何かを問いつつ、いかなる活動について考えていかなければならないと考えています。」

■被服部

3年生2名 2年生2名 1年生2名 計6名で活動しています。水曜日と金曜日の放課後選抜7教室にてタイトスカート・ブラウス・ワンピース等の製作を行っています。

■茶道部

本校の茶道部は裏千家の茶道を週2回、月曜日と金曜日にお手舞のお稽古をおこなっています。文化祭でのお茶会を催すことを中心に活動をしています。また国際ソロプチミスト埼玉のスクラップとしても活動をおこなっています。

男女共に活動する部員は勉強と部活動の両立を目指しています。先輩・後輩の仲が大変良いのが特徴で、笑顔が絶えません。コロナ禍ではお茶のお稽古の制限があるため、自分で浴衣が着れるように励んでいます。

■華道部

本校華道部は小原流で菅原先生のご指導の下、週に1回毎週水曜日に活動しています。例年毎回のお稽古以外に、夏に行われる競技会の参加や、老人福祉施設でのフラワーアレンジメント講習などの活動もしていますが、昨年度から外部での活動が全くできていません。部員は少人数ですが、コサージュ作りやクリスマスやハロウインのアレンジメントなどにもチャレンジしてお花に親しんでいます。

■調理部

「上手に出来て嬉しい。」「今日のお菓子美味しかったね。」「お腹いっぱいになってとっても満足。今夜の夕食はもう食べなくても大丈夫。勉強が出来る。」などと言う会話が部活動の終わった後で聞くことのできない状況が続いています。

しかし、様々なコンテスト(お弁当・スイーツ・たまご)にチャレンジしています。良い結果が出ることを期待して待っています。少人数での部活動の再開が早く出来ることを願っています。

■軽音部

軽音楽部は現在、1年生25名、2年生10名、3年生25名の、計59名で活動しています。放課後の時間が限られる中、各グループで練習する曲を決めて約1〜2ヶ月での完成を目安として日々練習を行っています。1年生は文化祭まで主に基礎練習、2・3年生は文化祭や送別会での発表、他校との合同ライブ、上級学校や自治体等からの依頼による部外演奏、各種大会などに向けて練習し、公式大会では上位入賞を目指して頑張っています。

■写真部

こんにちは、写真部です。写真部では球技大会や体育祭等の学校行事での撮影や、フォトウォークという校外撮影会を実施していました。今はコロナの影響もあり、例年参加していた「私学文化祭」が開催困難となり、数

少ない作品発表の機会を失ってしまったのが残念です。

しかし、今年は本校文化祭も実施の予定で、現在行っているClassi上での作品発表や各種コンテストへの参加など、地味な写真部「活動」を続けていきます。

■生物部

生物部では抗菌やマウスを使用した食材の機能性を研究している。これらの研究成果は、「高校生バイオサミット」を始め、「TAMAMサイエンスフェス」や「Jr農芸化学会」、また千葉大などで発表している。

この成果発表には、ボスター発表と論文投稿があるが、昨年はコロナ禍でもあり、対面によるボスター発表は一切叶わなかった。しかし、ボスターをパソコンに入れオンラインでプレゼンに臨んだ。結果は、「TAMAMサイエンス」では優秀賞(第2位)、また「Jr農芸」では銅賞(第3位)受賞した。しかも学会和文誌への推薦(年末掲載予定)も頂いた。

「万、論文投稿では、高校生らしい研究が評価され、『全国高校生理科・科学論文大賞』で(努力賞・応募総数2222件の中から第3位タイ)を受賞した。しかも受賞作品集となる『未来の科学者との対話19』に収録され、この5月に発行された。

いよいよ来月から始まる成果発表もオンラインの予定であるが、SSHに負けることなく上位入賞を目指している。詳細は本校ホームページを(ご覧下さい)。

■吹奏楽部

吹奏楽部は「一致響力」を目標に掲げ、聴いていた人々に感動を届ける演奏を目指しています。コンクールだけではなく、福祉施設での演奏や地域での演奏なども行っています。昨年度は、新型コロナウイルスの影響で思うような活動ができな中で、全日本ブラスシンフォニーコンクールの全国大会優勝を果たすことができました。今年度は、昨年度は中止となつてしまひ悔しい思いをした吹奏楽コンクールに向けて努力を重ねています。

■コーラス部

コーラス部は「昨年に同好会としてスタートし、昨年から正式に部活動として活動しています。感染予防に努めながら、出来る範囲で、仲良く楽しく活動しています。現在も部員を募集しています。歌が好きの方、歌が上手になりたい方ぜひお待ちしております。

■放送部

放送部は、学校行事の機材準備・撮影映像編集やお昼の放送など縁の下力持ちとして活動を行っています。コロナ禍だからこそ、映像や放送で伝えられることが多いと思います。大会では県大会以上の成績が残せるように頑張ります。(2年生7人・1年生4人)

■イラスト部

週に2回月曜日と水曜日に活動しています。文化祭やコンクールへの出展に向け活動しています。

■英語部

We currently have 9 members in our English club. This year we will stage a production of 'Hansel & Gretel' for the school cultural festival. We are also focusing on various video exchange projects with our friends in San Diego, California, USA, a fan letter writing campaign, having culture sharing sessions with foreign exchange students, watching the latest English movies, playing English board games and more cultural activities to foster global leadership skills.

■書道部

書道部は、週2回放課後の時間を利用して練習をおこなっています。

今年度は既に、埼玉県硬筆展覧会と書道芸術展覧会に作品を出品しました。各自が日々の練習を通して、より良い作品を仕上げるために努力しています。

今後は学校行事、展覧会等の開催に合わせて個人はもちろんのこと、部としても力をつけ、さまざまな作品制作に取り組んでいきたいと考えています。

保健室だより

これからの季節で気になるのは熱中症です。熱中症の初期症状はコロナの症状と似ており、鑑別がしにくいと言われています。また、マスクをしていると喉が呼吸で潤うために、喉の渇きが気づきにくくなります。現在、コロナウイルス感染症対策のために、マスクをつける場面が続くと思います。すると水分補給が疎かになって、マスクをしていない時よりも熱中症にかかりやすくなります。新型コロナウイルス感染症対策をする場合には同時に熱中症対策をしていく必要があります。

先日、屋外で活動する場面が多い部活の部員の代表者と、希望された文化部の部員の代表者、部活動の顧問の先生方に集まっていたとき、生徒会の先生と合同企画として熱中症対策研修を実施いたしました。

研修の目標として①自分自身が健康管理を行い、熱中症対策ができるようにする。②生徒自身が部活動で使用する場所の安全確認を行うことで、一人一人がケガや事故の予防に意識的になる。の二点を挙げました。

研修内容として、熱中症はどうして起こるのか？もし部活動中に友達が発熱中症になったらどうしたらいいか？熱中症になりやすい学年があるということなど、熱中症の発生のしくみや熱中症の重症度に合わせた応急処置についてお

話をしました。

具体的な取り組みとして、もし友達がつらそうだな？と思ったら大丈夫？と声をかけ、大丈夫？と声をかけられた友達は十分間休憩をする十分間ルールを取り入れること。WBGT値(暑さ指数)を測定し、部活動チェック表に記入する。練習前に自己チェック表を用いて健康状態のチェックをする。など、具体的な取り組みについて説明し、実際にWBGT測定器を使用して操作方法も学んでいたきました。

研修の終わりに、参加した生徒に研修に参加してどんなことが印象に残ったか質問したところ「2000〜2500ミリリットルを測って、何口で飲めるかやってみると自分がどのくらい飲んだか分かるので、部員みんなにも教えようと思った。」など、具体的な対策が挙げられました。

生徒会の先生からは、部活動ごとに塩分タブレットや水のペットボトルの配布など、こちらも昨年から引き続きの取り組みについて説明がありました。

熱中症は時には命を奪いますが、正しく予防し、適切な応急処置を実施することで防げる病気です。何より、人は単純に熱いからといって熱中症になるわけではありません。睡眠不足や寝不足など、日頃の生活習慣が影響します。保護者の皆様にはお子様の生活習慣について注意してくださいいますようお願いいたします。熱中症に気を付けて、この暑い暑い夏を乗り切ってほしいと思います。

事務室だより

皆様には、日ごろより事務事業に対して多大なご理解とご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

本年度においてもコロナ禍で始まった令和三年度、何もかもが延期・縮小・中止と事業計画どおりに進められない状況で船出となりました。そんな中、事務事業に対しまして、皆様の多大なご理解とご協力をいただきながら進めていきたいと思っています。

本年度の大きな事務事業はB館のトイレ改修工事が行われます。ご不便をお掛けすることとなりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

事務事業や施設関係でご不便をお掛けしている所もあるとは思いますが、全ての生徒が安心・安全に勉強や部活動に打ち込める環境作りを順次整えていきたいと思っております。これからも、新型コロナウイルス感染症に負けない、元気で様々な対応を心掛けてまいります。改めてご理解、ご協力をお願いいたします。

これからは、我々職員が何をすべき時代なのかをよく考え、その一歩として、職場や保護者・地域間とのコミュニケーションを活発に行い、情報の共有化を図ることが、皆様の元気や職場の活気ある原動力につながると思います。

コミュニケーションが良好な職場は、

事務長 師岡 昇

仕事の能率が向上するとともに、メンタル不調になりやすいと言われています。ひとり一人がコミュニケーションを取りながら、やりがいのある職場環境にしていきたいと思っています。

現在事務室では、皆様に今まで提出頂きました「就学支援金」「授業料軽減」「奨学のための給付金」について、国及び県に提出し、審査結果を待っている状態です。保護者の皆様は、この三点の給付金申請について、「きちんと提出したかを確認したい」「出し忘れてしまい、今から提出したい」「もしくは、家計の急変があった」などについてご連絡を頂ければ早急に対応いたしますので事務室までお電話ください。

順調に処理が完了し、国と県から補助金交付されましたら、該当の方へは、来年の2月下旬、現在届け出のある授業料振替口座に振込処理をさせていただきます。届け出口座の変更等ありましたら、早めにお知らせください。

本校での就学支援金及び父母負担軽減事業申請は生徒が学校で安心して勉強・部活動に励めるよう、この事業に、私学の中でも熱心に取り組んでいる学校です。遠慮せず相談を積極的にお願いいたします。